

# 福祉部長目標

## ● 福祉部長

瀬能 幸則(せのう ゆきのり)



## ● 福祉部長目標の仕事

福祉部は、福祉総務課・生活福祉課・障害福祉課・高齢者支援課・介護保険課・地域福祉センターの6課で構成し、地域福祉の向上をめざして、高齢者及び障害者に関すること、生活保護に関すること、介護保険に関することなどを主な仕事としています。多様化・複雑化する福祉課題に対し関係機関等と連携しながら業務を進めていきます。

## ● 福祉部長目標の令和元年度の目標

思いやりの心で支え合う幸せに暮らせるまちをめざし、昨年度施行した「障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」について、さらなる周知啓発に努めます。また、令和3年度からの計画である「第3次地域福祉計画」、「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定を進めるとともに、介護保険施設である認知症グループホーム2ヶ所、小規模多機能型居宅介護事業所2ヶ所について今年度末までに整備します。

## ● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	年度末の目標達成度合
1	障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	昨年度施行した「障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」について、より多くの方に理解を深めていただくため、引き続き周知啓発を図ります。	市職員に対する研修や出前講座等の実施により条例の更なる周知を図ります。また、昨年度創設した「社会的障壁の除去推進事業補助金」の内容を充実し、民間事業者の利用が45件以上となるよう努めます。	市職員への研修については、計282人を対象として実施しました。 出前講座については、14回実施し、計586人の市民の参加がありました。 また、手話普及活動として、8月に埼玉西武ライオンズとの連携により、市職員の手話応援映像を西武ドームで放映しました。 社会的障壁の除去推進補助金については、筆談ボードの購入、点字メニューの作成、スロープの設置工事等を実施した19の飲食店等に対して、計976,920円の補助金を交付しました。

2	<p>「第3次地域福祉計画」、 「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」 策定事業</p>	<p>令和2年度に計画期間が満了となる2つの福祉計画について、今年度から2ヶ年度をかけて、令和3年度からを期間とする次期計画の策定を行います。</p>	<p>両計画の策定にあたり、それぞれ市民に対するアンケート調査を実施し、結果を分析して報告書にまとめることにより、計画策定の基礎資料を作成します。</p>	<p>【地域福祉計画】 計画策定のための市民意識調査を令和元年9月末から10月に実施しました。5,000件配布、1,996件回収、回収率39.9%で、3月末に報告書をまとめました。</p> <p>【高齢者福祉計画・介護保険事業計画】 計画策定のための高齢者福祉・介護実態調査を令和2年1月から2月にかけて実施しました。4,250件配布、3,108件回収、回収率73.1%で、3月末に報告書をまとめました。</p>
3	<p>地域密着型サービス施設整備事業</p>	<p>「第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、介護保険適用の地域密着型サービス施設を整備します。</p>	<p>令和元年度中に、認知症グループホーム2ヶ所及び小規模多機能型居宅介護事業所2ヶ所の整備を行います。また希望する整備法人に対して、施設の開設準備に係る経費を対象とした補助金を交付します。</p>	<p>「第7期計画」に基づき、下記の2施設の整備を行いました。</p> <p>①メディカルケアプランニング株式会社 ・グループホーム・小規模多機能型居宅介護を整備（東所沢2-16-7） ・令和元年12月1日開設 ・開設準備経費補助金交付 22,653,000円</p> <p>②株式会社ニチイ学館 ・グループホーム・小規模多機能型居宅介護を整備（東狭山ヶ丘3-682-6） ・令和2年4月1日開設（補助金活用なし）</p>